

## 4 選挙常識

### (1) 公職の候補者等の寄附の有無の認識

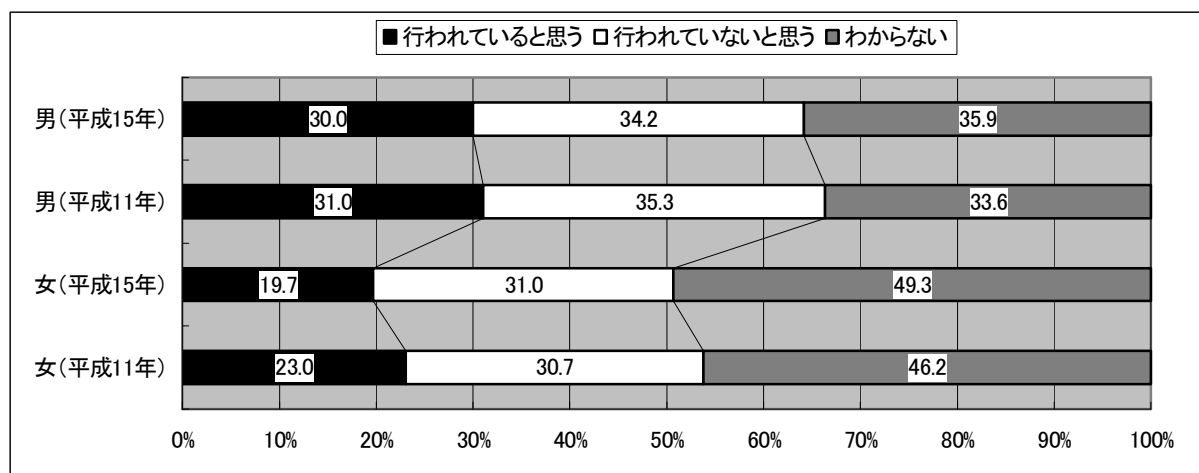
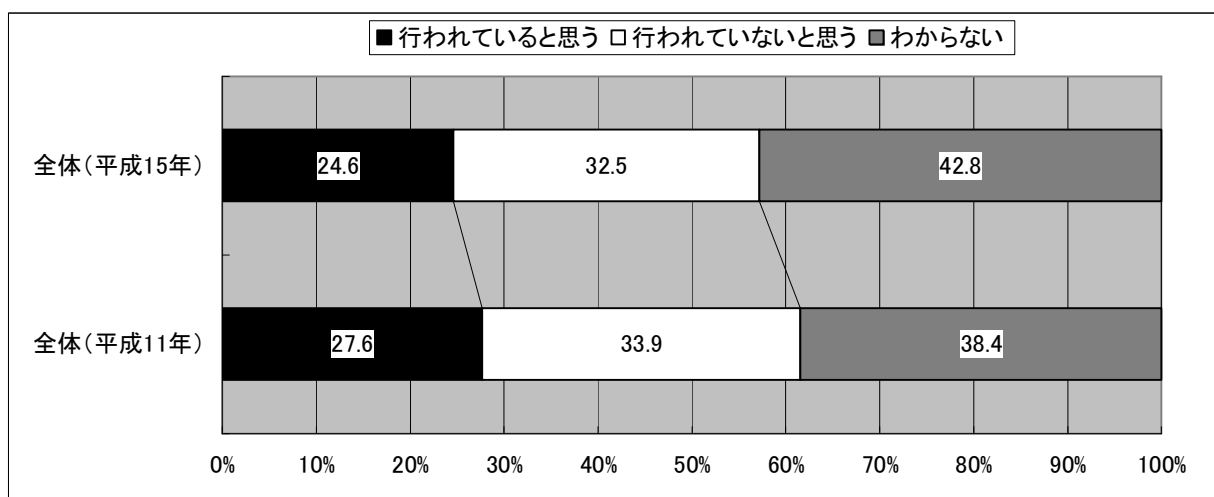
問16 選挙に当選するために、普段から冠婚葬祭の贈物をしたり、有権者を接待したりして、多額の金銭を使う公職にある人や候補予定者があるといわれておりますが、あなたの選挙区などでは、このようなことが行われていると思いますか。

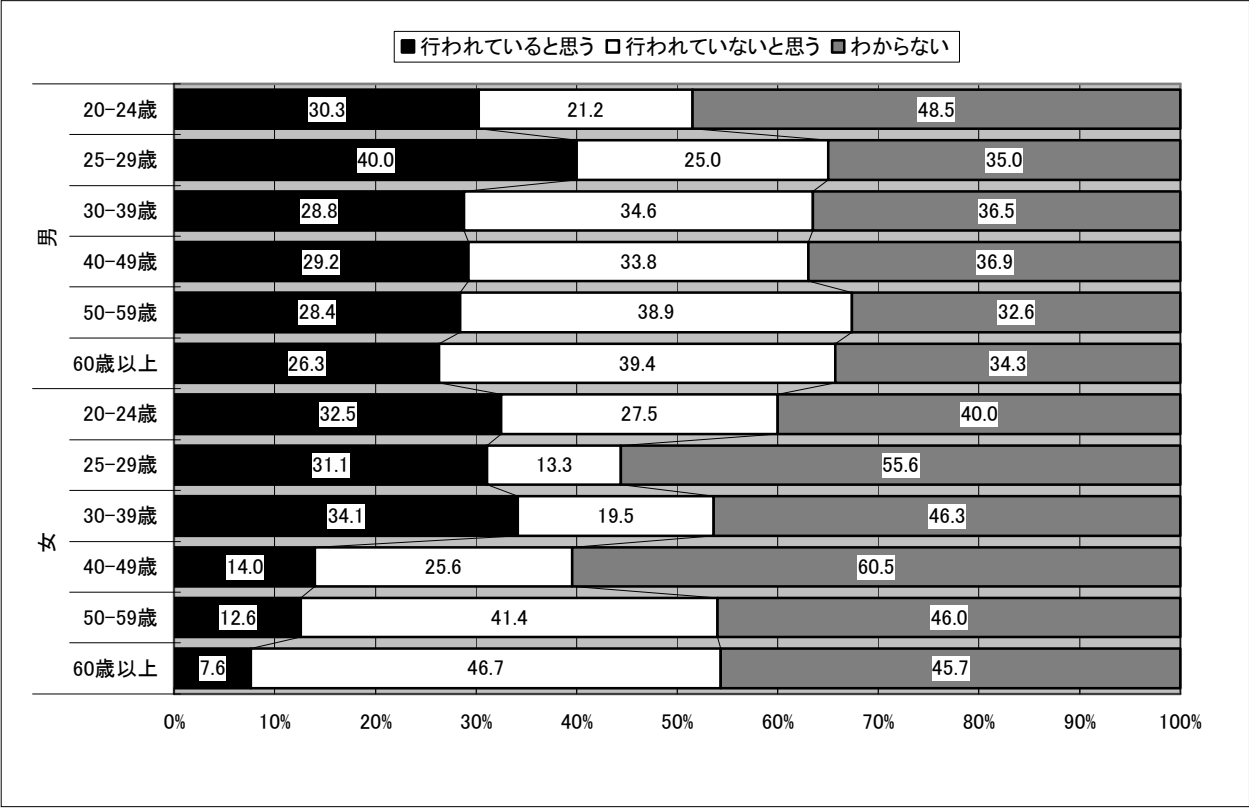
ア 男女ともに『行われていないと思う』が『行われていると思う』より若干多くなっている。

また、『わからない』と答えた人は全体で42.8%となっている。

イ 年齢階層別にみると、男性の20代と女性の20代から30代では『行われていると思う』と回答した比率が『行われていないと思う』回答した比率より高く、その他の世代はその逆になっており、比較的年齢が若い層ほど選挙を取り巻く環境に対し厳しい見方をしているものと考えられる。

ウ 前回平成11年調査と比べると、『行われていると思う』という回答が3.0ポイント減少し、『わからない』との回答が4.4ポイント増加している。





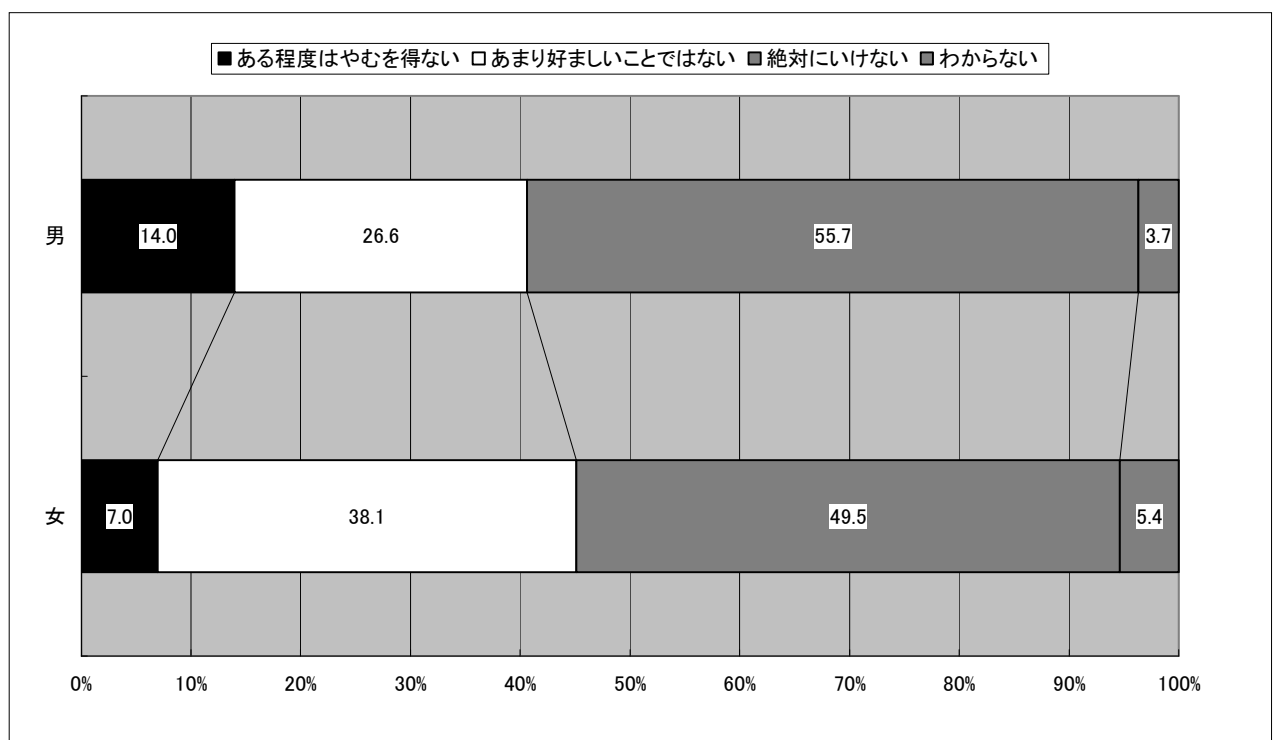
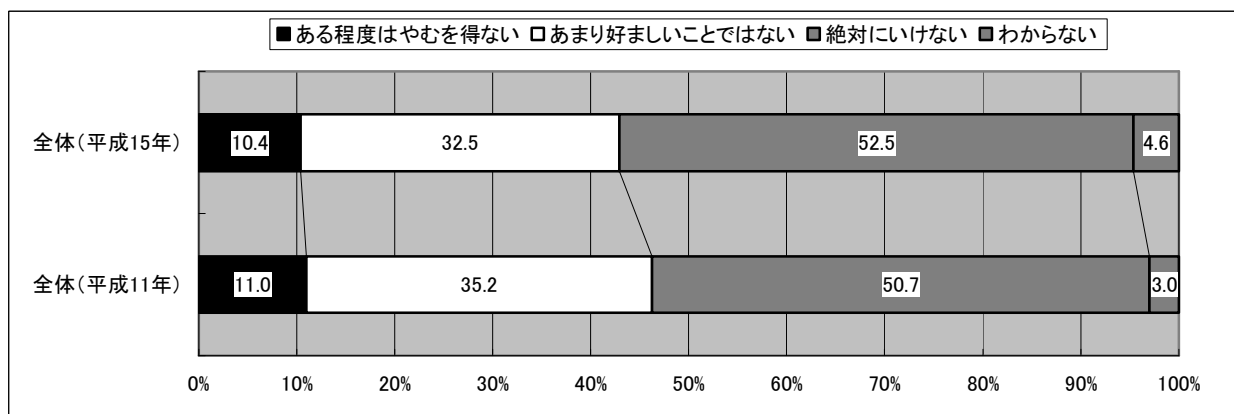
(2) 公職の候補者等の寄附の評価

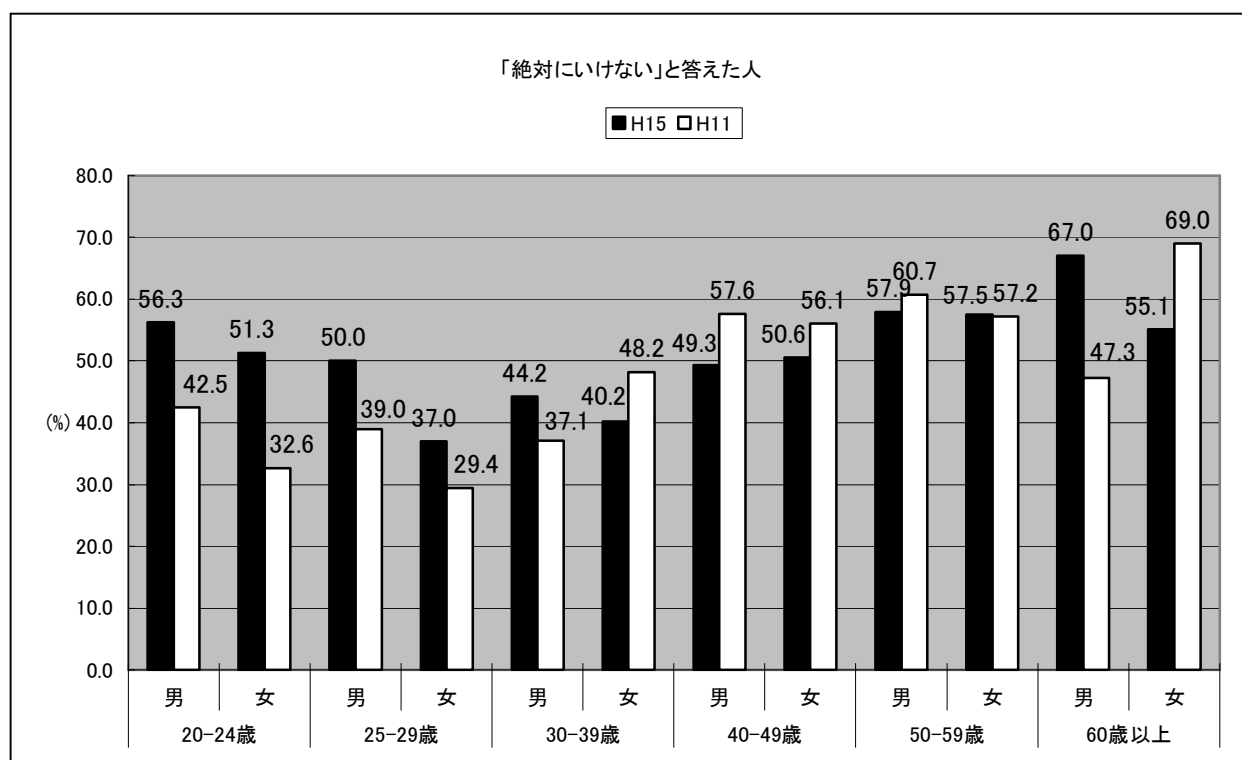
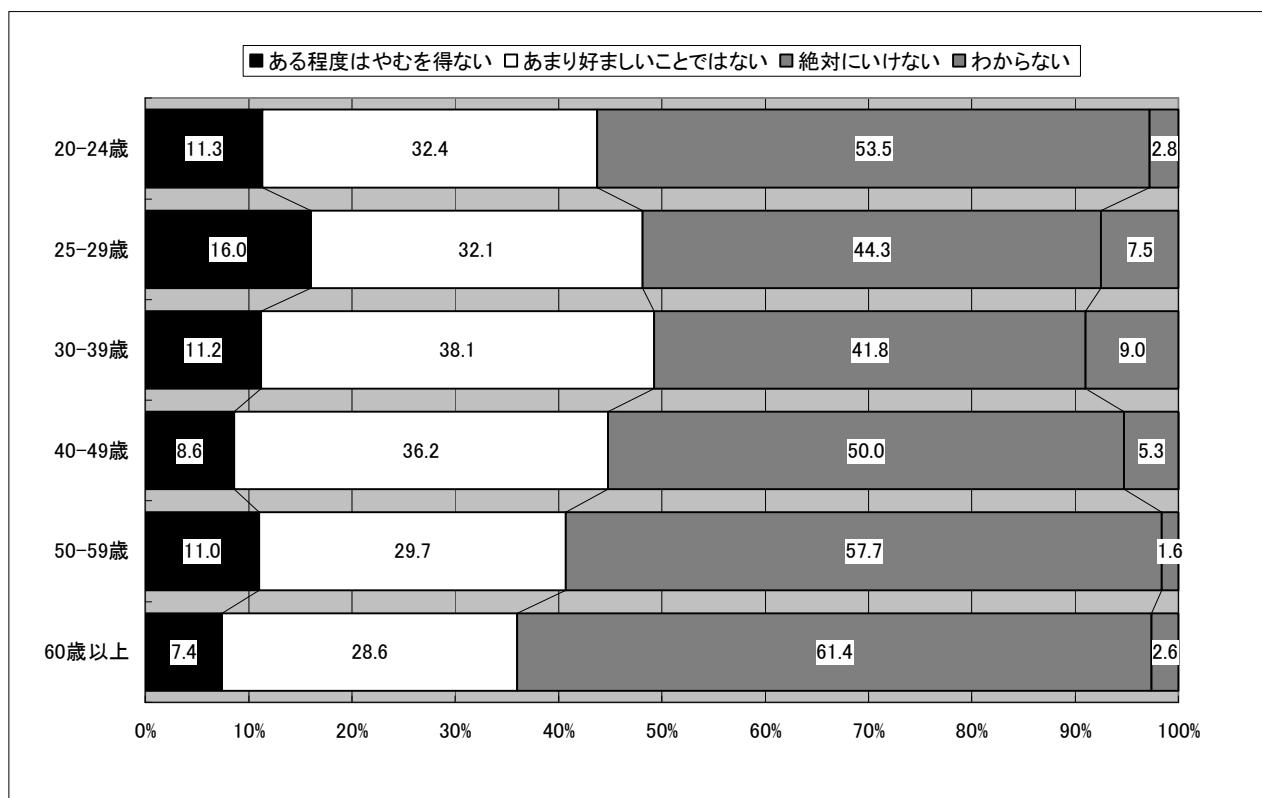
問17 選挙に酒などをふるまったり、金品を配ったりすることがあるといわれていますが、このことについてどのように思いますか。

ア 『絶対にいけない』と答えた人は全体で 52.5%となっており、女性（49.5%）より男性（55.7%）が多くなっている。

イ 年齢階層別でみると、『ある程度はやむを得ない』と答えた人は 20 代後半に多く、また、『絶対にいけない』と答えた人は 20 代後半から 30 代で 50%以下という結果が表れている。

ウ 前回平成 11 年調査と比べると、『絶対にいけない』と答えた比率が 1.8 ポイント増加し『あまり好ましいことではない』と答えた比率が 2.7 ポイント減少している。また、『ある程度はやむを得ない』と答えた比率は 0.6 ポイント減少している。





(3) 公職の候補者等の寄附禁止の周知度

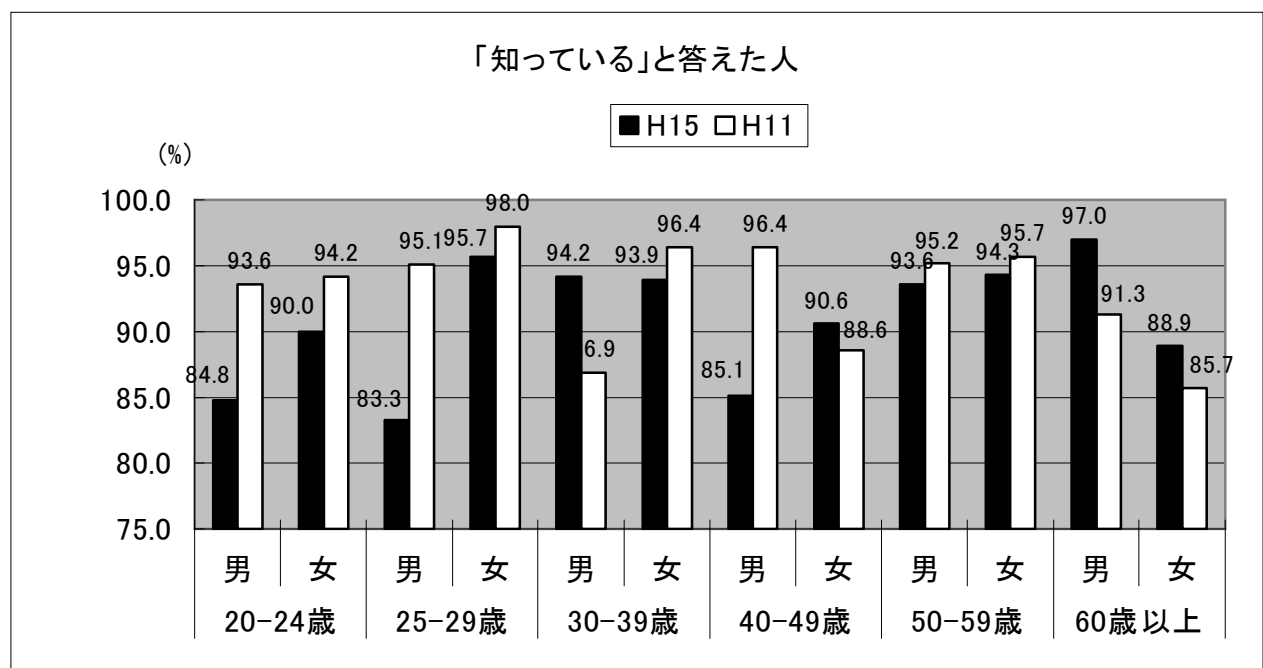
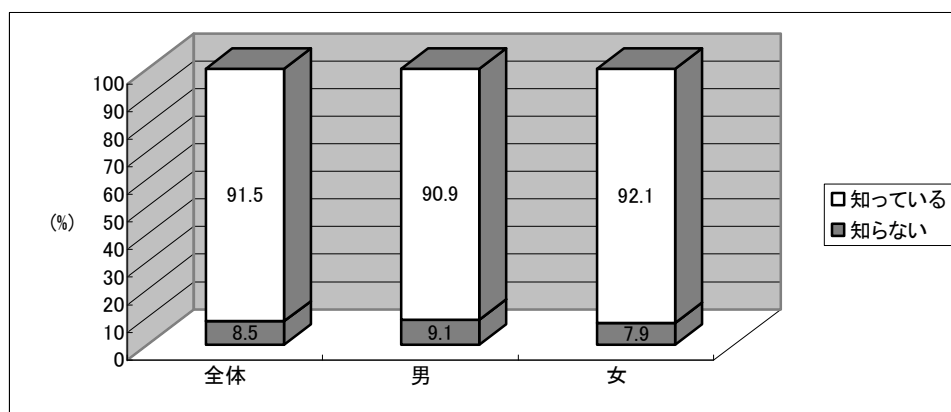
問18 公職にある人や候補予定者が選挙区内の人に寄附をしたり、選挙区内の人がこれらの人に寄附を求めたりすることは、選挙の時に限らず禁止されていますが、知っていますか。

ア 男性で90.9%、女性で92.1%が『知っている』と回答しており、全体として寄附の禁止については、かなり知られていることがわかる。

イ 年齢階層別では、男性の20代と40代、女性の60歳以上は『知っている』との回答が90%を未満となっている。

ウ 前問（問17）との関係を見ると、全体で91.5%が『知っている』にもかかわらず、選挙において酒や金品をもらうことは『絶対にいけない』と答えた数が半数程度（52.5%）であるという状況にある。

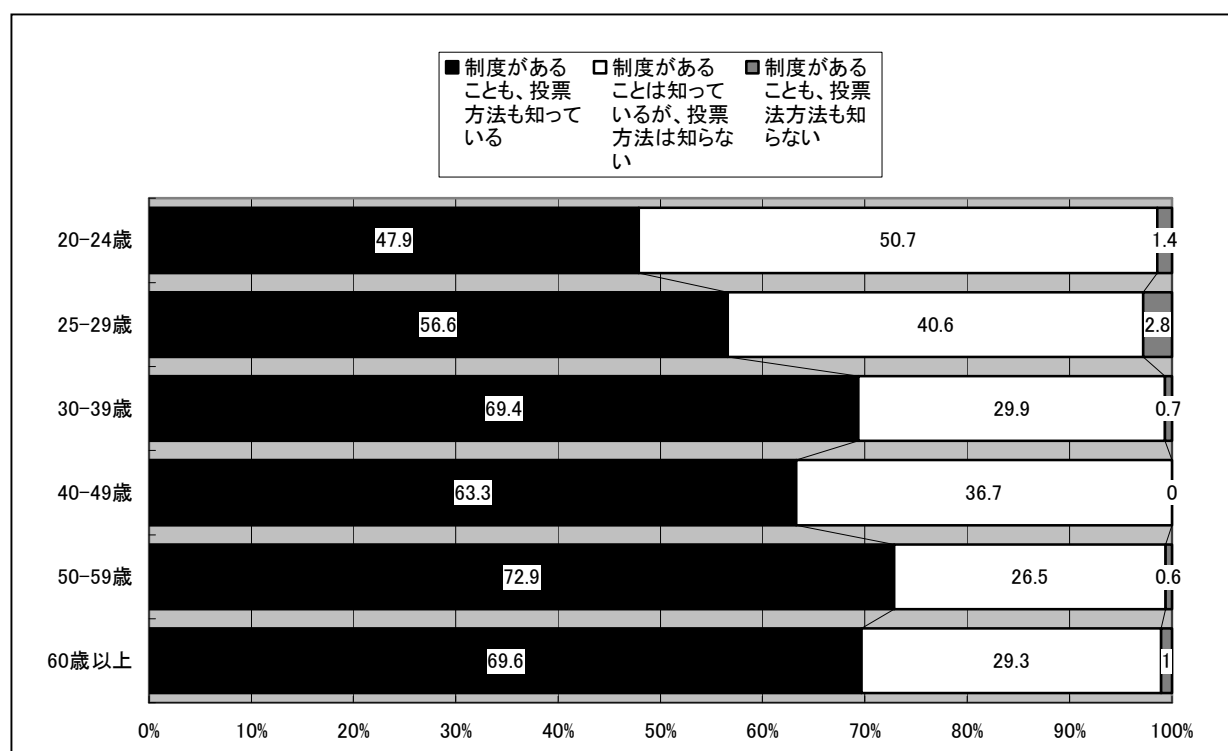
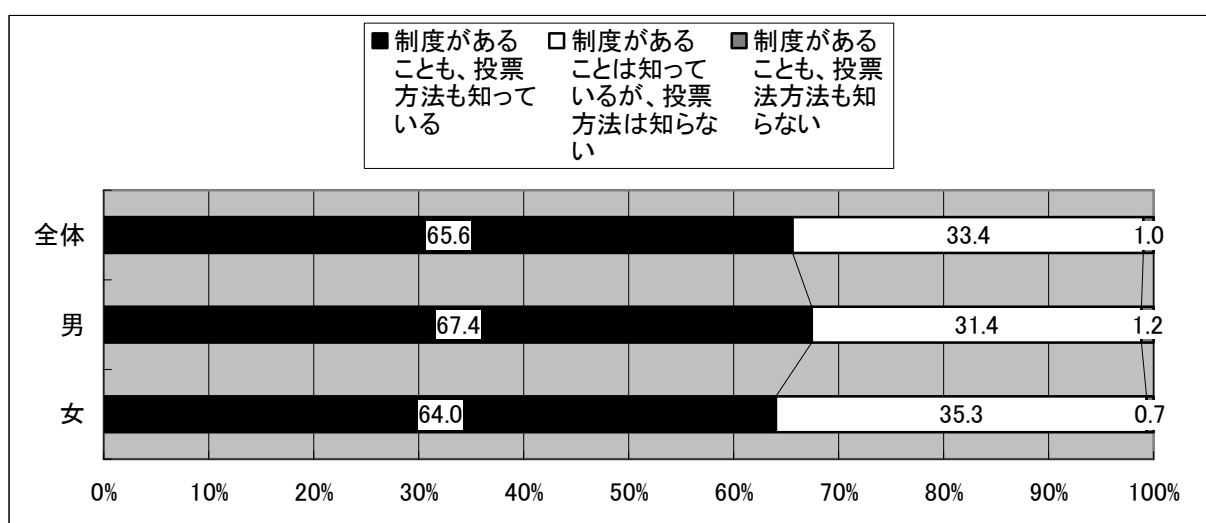
エ 前回平成11年調査と比べると、『知っている』と回答した比率は30代男性と40代女性、60歳以上で増加しているが、他の階層では減少している。



(5) 不在者投票制度の周知度

問19 選挙では、当日用事があるって投票にいけないと見込まれる方のために、「不在者投票」という制度がありますが、この制度を知っていますか。投票方法も知っていますか。

- ア この制度があることを知っている人は、99.0%を占めており、ほとんどの人が知っているが、投票の方法となると知らない人が33.4%を占め、この点の周知がなお必要と考えられる。
- イ 年齢階層別に見ると、『制度があることも投票方法も知らない』と答えた人は、20代後半が最も多くなっている。



## 5 明るい選挙の推進

### (1) 選挙啓発の周知媒体

問20 選挙管理委員会などでは、「きれいな選挙をしましょう。」とか、「必ず投票しましょう。」というような呼びかけをしていますが、どういうもので見たり、聞いたりしましたか。いくつでもお答えください。

『テレビ』、『新聞』、『県や市町村の広報』、『ポスター』、『広報車』によるものがいずれも10%を超えている。

なお、各種の情報媒体のうちテレビ、新聞、ラジオなどのいわゆるマスコミが高い割合を占めている。

